一号」の「利用児童数　合計」の数の合計とする。

七　生活保護費	市部人口	1　密度補正に用いる密度は、次の算式ア及び算式イにより算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式ア $\frac{[B + \{C - (D \times 0.979)\} \times 1.030] \times 100}{A}$ D×0.979及び{C－(D×0.979)}×1.030に整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 ［略］ ［2～5　略］
八　社会福祉費	人口	1　密度補正に用いる密度は、次の算式ア(1)、算式ア(2)、算式イ(1)、算式イ(2)、算式ウ、算式エ、算式オ、算式カ(1)、算式カ(2)、算式カ(3)、算式キ及び算式クにより算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式ア(1) $\frac{\alpha \times B \times 100}{A}$ 算式ア(1)の符号 A　測定単位の数値 B　公立の保育施設在籍人員数のうち0歳児数及び1・2歳児数の合計数 α　次の算式によつて算定した率（小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、公立保育所在籍人員数、公立幼保連携型認定こども園在籍人員数及び公立認定こども園在籍人員数（追加分）のうち0歳児数及び1・2歳児数の合計数が0の場合は1.000とする。） 算式 $1.3 \times \left(\frac{a \times b \times c}{1.040} + d \right) - 0.3 \times e$ 算式の符号 a　地域区分が100分の20地域の市町村にあつ

「認定区分　一号」の「利用児童数　合計」の数の合計とする。

七　生活保護費	市部人口	1　密度補正に用いる密度は、次の算式ア及び算式イにより算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式ア $\frac{[B + \{C - (D \times 0.973)\} \times 1.038] \times 100}{A}$ D×0.973及び{C－(D×0.973)}×1.038に整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 ［同左］ ［2～5　同上］
八　社会福祉費	人口	1　密度補正に用いる密度は、次の算式ア、算式イ、算式ウ、算式エ、算式オ、算式カ㈠、算式カ㈡及び算式キにより算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式ア $\frac{\alpha \times B \times 100}{A}$ 算式アの符号 A　測定単位の数値 B　公立の保育施設在籍人員数 α　次の算式によつて算定した率（小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、公立保育所在籍人員数、公立幼保連携型認定こども園在籍人員数及び公立認定こども園在籍人員数（追加分）の合計数（以下「公立保育施設在籍人員数（基礎分）」という。）が0の場合は1.000とする。） 算式 $1.5 \times \left(\frac{a \times b \times c}{1.588} + d \right) - 0.5 \times e$ 算式の符号 a　地域区分が100分の20地域の市町村にあつ